

## ご存知でしたか

優れた森林管理が行われれば、森林は、環境にとっても経済にとっても大きな恵みを生み出します。気候変動に関する懸念が高まるにつれて、製品の種類を問わず、環境に対する影響に関心が寄せられるようになりました。製材品も紙製品も例外ではありません。今回の「カナダの林産業は今」は、カナダの林産業界の気候変動に対する取り組みとして、カナダが合法的な、かつ、良質な管理の行われた森林からの製品をお届けしていることを、世界中のお客さまに自信を持って保証できる理由をご紹介します。

# カナダの 林産業は今

2009年11月

カナダの森林認証

カナダの対アジア  
林産品輸出

責任ある木繊維  
サイクル

## 独立機関による 森林認証

木材であれ紙であれ、今日のバイヤーの皆さまは、合法的にしかも責任のある管理の行われている森林から製品が作られていると認識していることが求められます。伐採後速やかに森林再生が行われ、適切な環境対策が組み込まれ、特別な場所は保護され、気候変動に対する取り組みが行われているか否かを知る必要性があるのです。

第三者機関による森林認証は、この保証を提供するだけではありません。森林認証は、そもそもおもに熱帯地方における乱伐と森林の転用が大きな問題となったときに、その対応策として1990年代に始まっ

たものです。今日では、世界的に認証制度が普及し、環境意識の高い消費者の皆さまに、木質製品や紙製品に使われている原料が広く認められている環境基準や社会基準に適合した管理の行われている森林から合法的に産出されたものであることを担保しています。

認証とは厳しい手続きです。幅広い知見を持った然るべき認証団体が森林経営の計画策定、手続き、管理システム、現場の施業実態を具体的な基準に照らして審査します。認証書は基準に適合している場合にしか発行されません。

2ページに続く



## ご存知でしたか

2009年半ばにはカナダの第三者森林認証面積は、**認証面積世界第2位の国の3倍以上、1億4600万ヘクタール**に及んでいました。当然のことながら、林産品のどのようなニーズであろうと、**カナダ産ならば認証品**である可能性が高いのです。

**公有地で伐採を行う林業会社は法律により、伐採前の自然の多様性を再現する**ような森林再生を義務付けられています。

## カナダの森林認証

カナダで採用されている第三者森林認証制度は下記の通りです。

**CSA(カナダ規格協会)**の持続可能な森林管理規格(CSA SFM Z809-08)は、持続可能な森林管理のカナダ国内外で認められた基準項目に基づくものです。環境、社会、経済的な課題に取り組み、積極的に市民参加を求める手続きを要件としています。

[www.csasfmforests.ca](http://www.csasfmforests.ca)

**FSC(森林管理協議会)**は国際的な非営利機関であり、そのFSC原則と基準は環境にとって適切で、社会にとって有益かつ経済的に実現可能な森林管理を支援しています。

[www.fsccanada.org](http://www.fsccanada.org)

**SFI(持続可能な森林イニシアチブ)**(SFI 2005-2009 Standard)には、環境上の目標値と実績測定方法があり、育林および伐採に様々な保全保護の目標項目を盛り込んでいます。

[www.sfiprogram.org](http://www.sfiprogram.org)

CSA、FSC、SFIはいずれも、伐採地の森林再生、法規遵守、生物種多様性の保全、野生動物の生息環境、土壌、水質の維持、持続可能な伐採など、持続可能な森林管理を促すものです。認証取得においては、カナダ国内の該当する法規をすべて遵守することが絶対条件です。すなわち、パイヤーの皆さまには、カナダの林業を規制している多くの法律を遵守した合法的な林業活動によって生産された木繊維であることを保証しているのです。

カナダの林産業は今・2009年11月

# 独立機関による森林認証



1ページから続き

カナダは森林認証の世界的なリーダーであり、広く認められている、CSA(カナダ規格協会)、FSC(森林管理協議会)、SFI(持続可能な森林イニシアチブ)という3つの認証制度を採用しています。どれもが、伐採地の森林再生、法規遵守、生物種多様性の保全、野生動物の生息環境、土壌、水質の維持、保続的な伐採量など、持続可能な森林管理を促すものです。

国単位、地域単位で設立された森林認証制度の場合は、FSCインターナショナルとPEFC森林認証プログラムという2つの世界的な制度のどちらかの認定を受けることで、森林規格として国際的に認知される仕組みです。これらの認定を受けるには、国際要件として制定されている共通規準を満たすと同時に、複数の利害関係者が参加して開発されるものでなければなりません。CSAとSFIは2005年にPEFCの認定を取得しています。

森林認証は、CoC認証と一体となることが多いものです。CoC認証とは、木製品につき、非認証林由来であるか認証林由来であるかを追跡し、純正さを確認するための制度です。FSCとSFIは製品自体に独自のラベルが貼付され、CSAはPEFCのラベルを利用しています。

「中国環境森林促進委員会」の最近の調査によると、325社以上の中国企業がCoC認証を取得しており、その数は増大する一方だとのこと。

認証品を提供するカナダ企業の検索には、[www.certifiedwoodsearch.org/fpac/](http://www.certifiedwoodsearch.org/fpac/)のオンライン検索ツールをご利用ください。カナダの森林認証についての詳細は[www.certificationcanada.org](http://www.certificationcanada.org)をご覧ください。

## 高い期待に応える

カナダで採用されている3つの独立した認証制度は、世界各国政府をはじめ、様々な認知された国際機関によって認定されています。

英国の「木材に関する専門家中央機関」が、厳しい評価作業の末、2008年にCSA、FSC、SFIを、英国政府の要求する「合法性」と「持続可能性」を満たすと認定しました。英国は2012年にロンドンオリンピックを開催しますが、この認定によって、これら3つの制度によって認証された製品は、持続可能かつ責任ある調達という画期的な目標を掲げるオリンピックで使用を認められたのです。

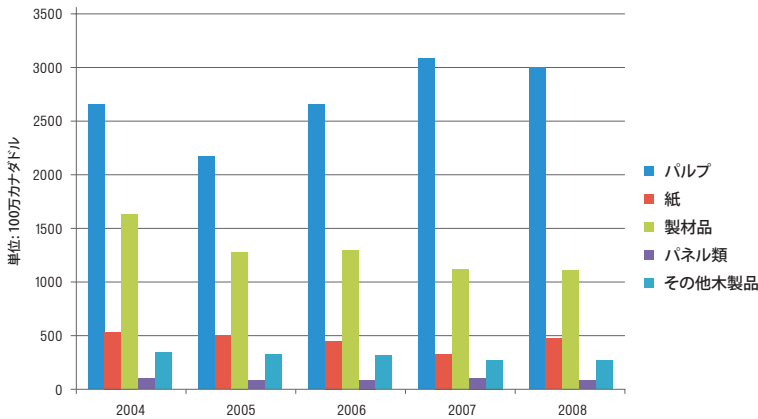
2008年にカナダ森林大臣会議は、カナダの持続可能性に関する森林認証について次のような声明を発表しました。「CSA、FSC、SFIの森林管理規格は全てカナダ国内において採用されている。連邦はじめ全てのカナダ政府はこれら規格がカナダにおける森林管理実務および施業の持続可能性を実証し、促進するものであることを認めるものである」。

2008年にカナダ公正取引局の発行した「環境に関する製品の主張：業界および広告業者のための指針書(Environmental Claims: a Guide for Industry and Advertisers)」は、林産品はSFI、CSA、FSCなどの規格によって認証された森林産であることを明記するのが好ましいとしています。

## ご存知でしたか

カナダでは州ごとに**規制の枠組み**が確立されており、**違法伐採**を着実に**防止**しています。統治体制は多面的で、**公共政策**、法規体制、取締り体制、**監視体制**、そして**情報開示**が行き渡っています。

# カナダの対アジア 林産品輸出



2008年には、カナダドルベースで、カナダからアジアに向けて49億ドルもの林産品が輸出されました。そのうち61%がパルプで30億ドル近くに上ります。次に製材品(23%、11億ドル)、紙(10%、4億7300万ドル)と続き、その他木製品(5%、2億6300万ドル)、パネル類(2%、7700万ドル)となります。これら製品のおよそ8割、すなわち39億ドル相当が中国(34%)、日本(29%)、韓国(10%)、台湾(7%)向けでした。

## 向上するカナダの製材工場の環境性能

カナダ連邦政府は、10億ドルの「紙パルプ産業緑化プログラム」を立ち上げ、カナダの紙パルプ業界の環境における成績を向上させる努力を行っています。エネルギー効率の改善や代替エネルギーによる生産の拡大など、設備投資に資金が提供されます。

カナダ天然資源省のリサ・レイット大臣は「今、賢い投資を行うことで、紙パルプ業界と働く人々にとって、よりグリーンで確かな未来のための基盤を作ることになる」と述べています。

カナダのパルプ工場のうち、黒液と呼ばれる廃水を副産物として産生する工場が、黒液の燃焼量に応じて資金の配分を受けるといって、10億ドルの予算が完全に配分されるまで継続するプログラムです。黒液は一般的に回収ボイラーで炊かれ、パルプ用薬剤の回収に使用されるとともに、同時に再生可能な熱と電力を生み出しています。

## 高い水準を満たす

カナダの紙パルプ産業は1990年以来、水質と大気質のために80億ドル以上の環境投資を行っており、飛躍的な改善を実現しました。工場の有害物質の排出量が93%も削減され、微粒子の排出量は62%の減少となっています。

カナダの紙パルプ工場の消費する総エネルギー量のほぼ60%がバイオエネルギーとなっています。樹皮、木屑、おがくずのような産業副産物を、カーボンニュートラルなエネルギー源として活用しています。

市況ははかばかしくありませんが、カナダの林産業は毎年、気候変動の原因と影響を緩和するため、設備改善と革新的な実務の導入に数十億ドルを投資しています。また、地域の水と大気の汚染、温室効果ガスの排出についても著しく改善しており、今後も絶え間なく科学的な知見と最新の技術の活用に使っていきます。



長年、省エネルギー/環境管理に積極的に取り組んできたバンクーバー島のクロフトン工場。化石燃料の代替として木質廃棄物の本格利用を推進してきた実績を誇ります。



## 責任ある木繊維サイクル

カナダの製紙業は、良好な管理が行われている森林からの新しい木繊維と、古紙を無駄にせず、再利用のために回収する強力なネットワークによって支えられています。

カナダにおいては、新たに製紙、板紙の生産に利用される木繊維のおよそ87%が製材工場の廃材と古紙を原料としています。製紙では、新紙の木繊維の3分の1近くが回収された古紙に由来しています。

紙製品の生産には新鮮な木繊維が必要です。木繊維は再生ごとに分解が進みますし、紙製品の約15%がティッシュや長期間保管されていた文書など、リサイクル不能なものであるためです。


非営利団体のMetaforeグループによる研究では、製材工場の廃材や伐採による新繊維が出回らなければ、北米の雑誌用紙は数週間、また新聞用紙やダンボールは数ヶ月で供給不足となるとのことでした。

カナダの製紙業界は、約20年前の3倍近くをリサイクルしており、毎年500万トン以上を再生しています。カナダの製紙工場は1996年から2001年の間に、埋立地行きを廃棄物を4割近く削減しています。


カナダの製材業と、紙パルプ業は、互いに補完関係にあります。紙パルプの生産に使われる木質繊維はかつては燃やすか埋立地に直行していた製材工場の廃材が原料です。ディメンションランバーのような高価額製品にするだけの品質を持たない原木は、パルプ用に使うことができます。

## 速報

### 中国、タリフ廃止

 **北京発** 中国はカナダ、米国、韓国からの新聞用紙の輸入につき、2009年6月30日付けでタリフを廃止した。中国の用紙サプライヤの陳情によって59%から78%という関税が1999年に導入され、2004年に更新されていた。

### BC産木造屋根組み、中国へ

 **ビクトリア発** 集合住宅の屋根組を対象とするブリティッシュ・コロンビア州の製材品の導入が中国北部で初めて本格化する。河北省とMOUが取り交わされ、石家庄市の集合住宅のうち150棟を上限としてBC州材を使い、カナダの木造トラス工法を採用して改修工事を行うことになった。

# サスカチュワン バイオマスエネルギー を模索

カナダの西部州であるサスカチュワン州は、廃材その他のバイオマスを、温室効果ガスを出さないエネルギー源として利用する可能性を模索しています。

サスカチュワン州の製材工場は、木屑を利用したコージェネレーションを導入し、既に環境的にも、また経済的にも改善を遂げてきました。そこにバイオマスエネルギーで起業しようという新しい世代が登場し、さらなる前進をめざして、現在閉鎖されている製材工場をグリーンな発電所に転換する可能性を検討しています。

たとえば、カナダのバイオテクノロジー産業のトップ企業のひとつである logen Corp. は、サスカチュワン州プリンスアルバートに所在し、2006年に閉鎖されたままである製紙パルプ工場を、製材工場やエタノール工場からの廃棄物をグリーンな電力に変換する発電所にしようとして提案しています。

この事業が同社の取締役会と株主総会によって承認されると、サスカチュワン州政府や林産会社との協同の下で、林産廃棄バイオマスから発電したいと考える林産企業に対し、商取引として使われていなかったボイラー能力を提供していくことになります。

時に、林産廃棄物の処理先が生まれ、地元農家にとって収入の道が開け、常勤の就職先と建設業の雇用が生み出されることになります。

この事業は、サスカチュワン州の膨大な農業や森林由来の廃棄セルロース資源を、単一のバイオマス変換工程を使って同時に活用していく可能性を示したものです。木質バイオマスからグリーンな発電を行い、同時に農業由来のセルロース原料からバイオ燃料を生産するという、ユニークなコージェネレーションであり、セルロースのうち、リグニンによるエタノール生産を組み込み、裾野の広いバイオ燃料精製設備を開発する道が拓けるかもしれません。

## イベントのお知らせ

### トレードショー出展

カナダの林産業は今秋、次のトレードショーに参加します。



11月11日から13日、東京にて  
Japan Home and Building

Show (ジャパンホームショー)  
[www.jma.or.jp/jhbs/en/](http://www.jma.or.jp/jhbs/en/)

## ご存知ですか？

カナダの製紙業は、**良好な管理が行われている森林産の新しい木繊維とともに、古紙を無駄にせずに**再利用のために**回収する**強力なネットワークによって支えられています。

カナダの林地の約**8%**が公園や**保護地**となっており、**生物多様性の標本的**な地域を保護する努力が払われています。

## 出版物のお知らせ

以下の出版物は、[www.naturallywood.com](http://www.naturallywood.com)に掲載しています。英語、中国語、日本語版をご注文いただくことができます。[info@naturallywood.com](mailto:info@naturallywood.com)までお問い合わせください。



「木によってグリーンに建てる」と題したファクトシートをシリーズで発行しています。グリーンな設計を採用することで建物の環境負荷を低減し、同時に性能を向上させる様々な方法を記載したファクトシートです。省エネ、耐久性、適応性、健康と健やかな暮らし、気候変動、グリーン建築のためのツールなど、様々なテーマで情報をお届けします。

## カナダの林産業は今

「カナダの林産業は今」は、国内林産業界を幅広く取り上げており、アジア市場で活躍する企業の皆さまからのご意見を募っています。発行は年4回で、建築や紙製品の原材料をカナダから調達しようとお考えのアジアのバイヤーや施工業者の皆さまに森林、施業、製品に関する情報をお届けする情報誌です。ご意見やご要望は [info@naturallywood.com](mailto:info@naturallywood.com) までお寄せください。

詳細はカナダウッドのウェブサイト [www.canadawood.org](http://www.canadawood.org)、または地元のカナダウッド事務所までお問い合わせください。

中国 上海事務所: 86-21-5030-1126 北京事務所: 86-10-59251255

日本 東京事務所: 81-3-5401-0531 韓国 ソウル事務所: 82-2-3445-3835/4

カナダ林産業に関する詳細は下記をご覧ください。

カナダ林産品協会 ([www.fpac.ca](http://www.fpac.ca)) はカナダの木製品、紙パルプの大手生産業者が加盟しており、ウェブサイトでは持続可能な林産品調達方針を策定する上で参考となる「カナダの持続可能な林産品 - お客さまガイド」をはじめ、豊富な情報を提供しています。

林産業革新投資公社(FII) ([www.naturallywood.com](http://www.naturallywood.com)) はブリティッシュ・コロンビア州の政府機関であり、州の森林とその管理、さらに環境責任を負ったうえで高い品質を誇る林産品について正しい情報を提供しています。



カナダの林産業は今・2009年11月

林産品バイヤーの皆さまの意識は高まる一方であり、5大原則を守る生産者が求められています。

1. 違法伐採に反対
2. 速やかな森林再生
3. リデュース/リカバリ/リサイクルの実践
4. CO2削減と温暖化の緩和
5. 第三者機関の厳しい目を歓迎